

(2) 予察情報－3 月報

4 月月報(令和4年5月16日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成、半促成トマトの生育は概ね順調であった。露地果菜類の定植はほぼ平年並みに行われていた。

葉菜類：キャベツの生育は7日程遅れ気味であった。

根菜類：コカブの生育は概ね順調であった。

イモ類：ジャガイモの生育は概ね順調であった。

(2) 果樹

ナシ：東京都農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。全ての品種で、開花始期はほぼ平年並み、開花盛期は幸水で4日早くなった。

新高：開花始	4月6日（+1日）	開花盛	4月8日（-1日）
稲城：開花始	4月7日（+1日）	開花盛	4月9日（-1日）
幸水：開花始	4月9日（-2日）	開花盛	4月11日（-4日）
豊水：開花始	4月9日（-1日）	開花盛	4月11日（-2日）

(3) 茶樹

低温の日があり、芽の伸長があまり揃わなかった。このため、摘採は概ねのところで行い、時期は例年の摘採日と同程度の圃場が多かった。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハマキムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ < 発生時期：やや早 発生量：やや多 >

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < やや少 > 発生はやや少なかった。

(3) 野菜の病害虫

トマト（施設）

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ（施設）		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ（露地）		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
クローバーハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

（4）花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

（5）植木の病害虫

ケヤキのケヤキヒゲマダラアブラムシの発生はやや少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：キャベツでヨトウ類の発生がやや多かった。
それ以外の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリンガ	<誘殺なし>

5 月月報(令和 4 年 6 月 24 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類:5月初旬の寒さの影響で全般的にやや遅れ気味である。

葉茎菜:ネギ、レタスの生育は順調である。ホウレンソウ、コマツナの生育は雨や寒さの影響でやや遅れ気味である。

根菜類:ジャガイモの生育は順調である。サトイモはやや遅れ気味である。

(2) 果樹

カキ:農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるカキ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。開花始期及び開花盛期ともに、1~4日早かった。

平 核 無:開花始 5月 10 日(-3日)、開花盛 5月 13 日(-3日)

東 京 紅:開花始 5月 16 日(-2日)、開花盛 5月 19 日(-1日)

次 郎:開花始 5月 16 日(-3日)、開花盛 5月 19 日(-3日)

松本早生:開花始 5月 18 日(-4日)、開花盛 5月 22 日(-2日)

(3) 茶樹

4月に低温の日があり芽の伸長があまり揃わなかったが、一番茶摘採時期は例年と同程度の圃場が多かった。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 並 >	予察灯における誘殺数はやや多く、フェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

トマト（施設・半促成）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ

褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ネギ

さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

キャベツ

菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンシロチョウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

（４）花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

アブラムシ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

(5) 植木の病害虫

ツバキ・サザンカ

チャドクガ

< やや多 >

発生はやや多かった。

ケヤキ

ケヤキヒゲマダラアブラムシ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

(6) 島しょの病害虫

多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ

< 誘殺なし >

ウリミバエ

< 誘殺なし >

ミカンコミバエ種群

< 誘殺なし >

コドリंगा

< 誘殺なし >

6 月月報(令和 4 年 7 月 15 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

田植えは 6 月上旬頃にほぼ終了し、生育は順調である。

(2) 野菜

果 菜 類：6 月後半の高温・乾燥の影響でトマトは日焼け果、キュウリでは曲がり果等の発生が増えた。トウモロコシは順調である。

葉根菜類：全般的に生育は順調である。

イ モ 類：ジャガイモは収穫期に入り、例年よりやや早い。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土・露地)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通りであった。巨峰および安芸クイーンで開花始・盛期は平年より3~4日遅かった。高尾で開花始・盛期は平年より1~2日早かった。

巨 峰：開花始 5 月 30 日 (+ 3 日)、開花盛 6 月 3 日 (+ 4 日)

安芸クイーン：開花始 5 月 30 日 (+ 3 日)、開花盛 6 月 3 日 (+ 4 日)

高 尾：開花始 5 月 24 日 (- 1 日)、開花盛 5 月 26 日 (- 2 日)

(4) 茶樹

6 月末の高温・乾燥により一部で葉焼け症状が発生し、今後の生育が遅延する可能性がある。特に幼木で被害が大きかった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(苗)	< やや多 >	発生はやや多かった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	予察灯及びフェロモントラップ
------------	-------	----------------

クサギカメムシ	< やや多 >	への誘殺数は多かった。 予察灯への誘殺数は多く、フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
 (3) 茶樹の病害虫		
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	< やや多 >	フェロモントラップへの誘殺数はやや多かった。
ナガチャコガネ	< 並 >	予察灯への誘殺数は平年並であった。
 (4) 野菜の病害虫		
ジャガイモ		
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
トマト		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 多 >	発生は多かった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 並 >	発生は平年並みであった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 並 >	巡回調査での発生はやや多く、フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
ネギ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
さび病	< 多 >	発生は多かった。

ネギアザミウマ	<やや多>	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	<やや少>	発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	<少>	発生は少なかった。
黒腐病	<少>	発生は少なかった。
コナガ	<やや少>	巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
ヨトウガ	<少>	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫		
灰色かび病	<少>	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など		
チャドクガ	<やや少>	発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

三宅島：施設栽培でコナジラミ類、アブラムシ類、ハモグリバエ類の発生が多かった。
 御蔵島：茎ブロッコリーでコナガ、トマトでヨトウの発生が多かった。
 八丈島：メロンでウリハムシの発生がやや多かった。
 小笠原：父島はかんきつ類でかいよう病の発生が多かった。母島はオクラでアジアベッコウマイマイの発生が多かった。
 その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリガ	<誘殺なし>

7 月月報(令和 4 年 8 月 26 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は概ね順調であった。

(2) 野菜類

果菜類:高温と強い日射の影響で、一部で日焼け果の発生が見られた。

葉根菜類:キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンジン等の播種が始まった。

イモ類:サツマイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水:概ね順調な生育を示した。天候による生育の遅延等は見られなかった。

(4) 茶樹

生育は順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(平野部)	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病(山間部)	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 少 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯の誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数は平年並であった。

チャハマキ	< 並 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数は平年並であった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(7) 島しょの病害虫

小笠原：パッションフルーツ、マンゴーでカイガラムシ類の発生がやや多、かんきつ類でミカンハモグリガ、ルビーロウムシ、アシシロバエミノガ、かいよう病の発生がやや多かった。また、母島ではオクラでヨコバイ類がやや多、ほ場全体的にマイマイ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリンガ	<誘殺なし>

8 月月報(令和 4 年 9 月 16 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：ナスは高温が影響し「焼け果」や「つやなし果」の発生が見られた。

葉菜類：キャベツやブロッコリーでは平年どおり定植作業がおこなわれたが、暑さの影響で活着不良が見られた。コマツナ、ホウレンソウ等は生育が悪く、やや遅延した。

根菜類：ニンジンの一部で発芽不良が見られた。

イモ類：サトイモは8月後半の降雨で生育が持ち直した。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘高尾’で着色が遅れ、収穫始めは7日遅くなった。

‘高尾’収穫始 8月29日（+7日）

ナシ：収穫始めは、‘幸水、秀玉’で平年並み、‘稲城’で2日遅くなった。

‘幸水’収穫始 8月15日（±0日）

‘稲城’収穫始 8月26日（+2日）

‘秀玉’収穫始 8月26日（±0日）

(4) 茶樹

8月上旬と下旬の高温により、葉の萎縮が見られる圃場があった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 多 >	発生は多かった。
ツマグロヨコバイ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
果樹共通		
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナス		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
サトイモ		
ワタアブラムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ

< 少 >

発生は少なかった。

アザミウマ類

< やや多 >

発生はやや多かった。

(6) 島しょの病害虫

大 島：エダマメでカメムシ類、アシタバとブバルディアでアオバハゴロモの発生が多かった。

八丈島：キキョウランでハダニ類の発生はやや多かった。

小笠原：父島でマンゴーのカイガラムシ類、かんきつ類のミカンハモグリガがやや多かった。父島、母島の両島でかんきつ類のかいよう病がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ

< 誘殺なし >

ウリミバエ

< 誘殺なし >

ミカンコミバエ種群

< 誘殺なし >

コドリंगा

< 誘殺なし >

9 月月報(令和 4 年 10 月 20 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

中下旬から稲刈りが始まった。収穫時期はやや遅い傾向であった。

(2) 野菜

果菜類：施設トマト、キュウリの生育は順調であった。イチゴの定植期はほぼ平年並であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育はやや軟弱徒長気味であった。

根菜類：ニンジンの生育は平年並みであった。

イモ類：日照不足で秋ジャガイモの草勢はやや弱かった。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは2日遅かった。

‘巨峰’ 収穫終 9月22日（+2日）

ナシ：収穫終わりは、‘幸水’と‘稲城’で2日早く、‘豊水’で8日早かった。

‘幸水’ 収穫終 8月29日（-2日）

‘豊水’ 収穫終 9月7日（-8日）

‘稲城’ 収穫終 9月7日（-2日）

(4) 茶樹

台風や降雨の影響もほとんどなく、生育は平年並であった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ツマグロヨコバイ	< 多 >	発生は多かった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	発生はやや多かった。
果樹共通		
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ (施設)

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 多 >	発生は多かった。
トマトハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホコリダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

キャベツ

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ダイコン

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

シロオビノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや多 >	発生はやや多かった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネキリムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでハダニ類の発生がやや多かった。

小笠原：父島でパッションフルーツのハダニ類、マンゴーのカイガラムシ類およびかんきつ類のミカンハモグリガがそれぞれやや多く発生した。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリンガ	< 誘殺なし >

10 月月報 (令和 4 年 11 月 14 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

収穫時期は平年並となり、10 月中旬には収穫が概ね終了した。

(2) 野菜

果菜類：施設トマト、キュウリの生育はおおむね順調であった。露地ナスは日照不足や低温の影響で 10 月までに栽培は概ね終了した。

葉根菜類：施設のコマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調であった。露地のキャベツやブロッコリー、ダイコンはやや生育が遅れ気味であった。

いも類：サトイモとサツマイモの収穫時期は例年並みであった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

カキ：収穫始めは、平年と比べ‘早秋’で 2 日、‘太秋’で 13 日早く、‘伊豆’で 3 日、‘甘秋’で 1 日遅かった。収穫終わりは、平年と比べ‘早秋’で 4 日、‘伊豆’で 8 日、‘甘秋’で 7 日遅く、‘太秋’では平年並みであった。

‘早秋’	収穫始	9 月 29 日	(- 2 日)	収穫終	10 月 17 日	(+ 4 日)
‘太秋’	収穫始	9 月 29 日	(- 13 日)	収穫終	10 月 31 日	(± 0 日)
‘伊豆’	収穫始	10 月 11 日	(+ 3 日)	収穫終	10 月 31 日	(+ 8 日)
‘甘秋’	収穫始	10 月 14 日	(+ 1 日)	収穫終	11 月 4 日	(+ 7 日)

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 多 >	発生は多かった。
ヨトウガ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイコン・ハクサイ		
軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ホウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハコベハナバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
イチゴ		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

大島：ブバルディアでコナジラミ類の発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >

ミカンコミバエ種群
コドリソガ

<誘殺なし>

<誘殺なし>

11 月月報 (令和 4 年 12 月 16 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：施設トマト、イチゴの生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は例年より 5 日～1 週間程出荷が早まった。

根菜類：ダイコン、ニンジンの生育は概ね順調であった。

いも類：サトイモ、秋ジャガイモの生育は概ね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設・抑制)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー

黒腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
菌核病	< やや多 >	発生はやや多かった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ヨトウガ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや多 >	発生はやや多かった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 多 >	発生は多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

大 島：ブバルディアでコナジラミ類の発生が多かった。

八丈島：ダイコン、ワケネギでマイマイ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリガ	< 誘殺なし >

12 月月報 (令和 5 年 1 月 16 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果 菜 類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリーは生育が進み、年明け出荷用が年内出荷になり、早まった。
コマツナ、ホウレンソウの生育は順調であった。

根 菜 類：ダイコンは例年に比べ生育が早まった。ニンジン、ゴボウは生育が順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

ホウレンソウケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害

三宅島：施設栽培キュウリでべと病の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

1 月月報(令和5年2月15日)

1 作物生育概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ココナジラミ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

ハウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

多発生の病害虫は認められなかった。

2 月月報(令和5年3月15日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類:施設栽培のトマト及びイチゴの生育は概ね順調であった。

葉根菜類:寒気の影響で降雪が見られたが農作物への影響は少なく、概ね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並だった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ (施設、露地トンネル)

べと病	< 並 >	発生は平年並だった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

多発生の病害虫は認められなかった。

3 月月報(令和 5 年 4 月 14 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト・イチゴの生育は概ね順調だった。

葉菜類：ハウレンソウやコマツナの生育は例年に比べ早かった。

根菜類：ニンジン、コカブの生育は概ね順調だった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並だった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並だった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：一部地域のアシタバでヨコバイ類の発生がやや多かった。

小笠原：母島のミニトマトでコナジラミ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。